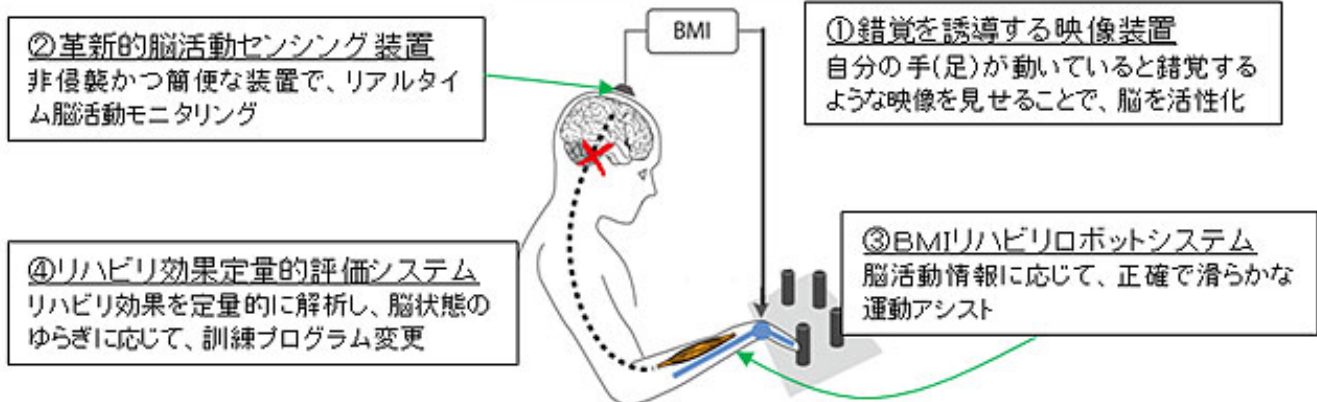


報道発表資料の配付日時 9月24日(水) 14時30分

<p>発表項目 (行事名)</p>	<p>独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO)「未来医療を実現する先端医療機器・システムの研究開発」に、本学の保健医療学部 理学療法学第二講座 金子文成准教授のグループが採択されました。</p>
<p>事業概要</p>	<p>独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構が本年度公募を行った「未来医療を実現する先端医療機器・システムの研究開発」に、本学からの申請が「麻痺した運動や知覚の機能を回復する医療機器・システムの開発」プロジェクトの一部として採択され、同機構と平成26年8月21日付けで業務委託契約を締結しました。本プロジェクトは、慶應義塾大学医学部リハビリテーション医学教室里宇明元教授をサブプロジェクトリーダーとして、学校法人慶應義塾，パナソニック株式会社 エコソリューションズ社，株式会社島津製作所，日本光電工業株式会社，パシフィックサプライ株式会社，株式会社ソリトンシステムズ，インターリハ株式会社と本学の計8者による連携で実施されます。この中で本学が担う部分は、特に、映像の提示によって脳で起こる錯覚を利用し、それを脳機能の変化と運動や感覚障害の回復に役立てようとするものです。このような錯覚を利用したリハビリテーションはこれまでに実用化されておらず、新しい試みです。</p> <p>※研究開発内容の詳細は別添をご覧ください。</p>
<p>報道(取材)に当たってのお願い</p>	<p>貴紙面・WEB・番組等にて報道、また取材等につきまして、宜しくお願い申し上げます。</p>
<p>本件に関する問い合わせ先</p>	<p>保健医療学部理学療法学第二講座 准教授 金子 文成 TEL: 011-611-2143</p>

本学の分担する研究開発内容について

動画を提示している様子（右写真）。
このようにして錯覚を引き起こすことにより、Brain Machine Interfaceを用いたリハビリテーションシステム（下図）の効果を高めることや対象者の拡大に寄与することを目指している。



NEDOによる採択結果及びプレスリリースはこちら。

採択結果：http://www.nedo.go.jp/koubo/EK3_100022.html

プレスリリース：http://www.nedo.go.jp/news/press/AA5_100281.html

【本件に関する問合せ先】

保健医療学部理学療法第二講座 准教授 金子 文成

TEL：011-611-2143